

科目名： 性格心理学（パーソナリティの理解）		科目コード	EB81
		単位	4
科目主査： 高桑 将太		担当講師： 高桑 将太、田中 慎太郎	
		配当年次	3・4
授業の目的と概要		グループワーク： ☒あり☐なし	個人ワーク： ☒あり☐なし
性格やパーソナリティということばは、もともと行動の仕方に広範な個人差が存在するところからつくられました。性格心理学とは、個人の心の動きや行動の背後にある法則性を明らかにしようという心理学のことです。本科目では、性格心理学の今までの研究史と理論といった概略を学び、パーソナリティの理解を通して日常生活に活かせるようになることを目指します。			
履修の前提となる科目	☐あり☒なし	科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項	初学者にもわかりやすいように講義を心掛けますが、心理学について事前に学習しておく、より理解が深まります。		
テキスト	『わかりやすいパーソナリティ心理学』榎本 博明，サイエンス社，最新版		

この科目の到達目標	①性格心理学およびその周辺領域に関する基本的な理論や知識を正しく理解し、自分の言葉で説明できる。 ②性格の形成や変容をもたらす要因について理解し、身近な現象に適用できる。 ③性格と人間関係、性格の病理などについての理解を深めることで、日常生活における人間関係を改善できる。
成績評価の方法	出題範囲・出題形式に関しては授業1日目に説明します。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	性格心理学への知見を活用して、自分の性格の理解と身近な人たちの性格の理解を深め、対人関係に活かしていきましょう。
事後学習の参考文献	『性格心理学への招待[改訂版]—自分を知り他者を理解するために—』詫摩 武俊・瀧本 孝雄・鈴木 乙史・松井 豊，サイエンス社，2003年 『はじめて学ぶパーソナリティ心理学』小塩 真司，ミネルヴァ書房，2010年 『よくわかるパーソナリティ心理学』吉川 眞理，ミネルヴァ書房，2020年

スクーリング受講時に用意するもの

☒テキスト ☒筆記用具 ☒カメラ・マイクは必須となります。